



稲城市立小中学校のESD取組事例を紹介します

ESDとは？

「ESD」は「Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)」の略であり、大規模災害や環境破壊、エネルギー問題等の現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動です。

稲城市立学校では、
「ESDは持続可能な社会づくりの担い手を育む教育」として取り組んでいます。

稲城市のESD

視点 問題解決能力の育成・つながり・探究・思考力、判断力、表現力等

題材 国際理解・環境・自然・人権・地域・防災等

稲城市の地域的な特色(起伏に富んだ地形、梨やぶどう等の生産、里山、地域のつながりや伝統・文化)を生かして、ESDに取り組んでいます。今後、当紙にて各学校のESD取組事例を紹介していきます。

若葉台小学校

総合的な学習の時間 「大好き!若葉台小学校」

本校では、「大好き!若葉台小学校」と題し、7月17日(水)に3年生が総合的な学習の時間に若葉台小学校の魅力に迫りました。発表会では、インタビューや調べ学習を通して分かったことを伝え合い、新たな発見や驚きに出会えました。授業の後半には、本校の建築に貢献された東京都立大学名誉教授上野淳氏をお迎えし、質問会を行いました。

レンガや木で建てられた校舎、開放的なオープンスペースや図書ホール、時計台や三角屋根等、若葉台小学校の特徴はどれも、自分の家のようにのびのびと安心できる学校であるように、自由に様々な学びができるように、地域に愛される学校であるようにと、あたたかな願いや思いが込められていることを知り、素敵な学校に通う喜びを改めて実感できた子ども達でした。



稲城第三中学校

地域の一員として活躍する生徒を 育てる～地域連携型防災訓練～

本校では、防災についての意識を高め、地域の方々とともに、地域の一員として活躍する生徒を育成するために、全学年で地域防災訓練を行っています。

今回は、稲城消防署や稲城市赤十字奉仕団、稲城市社会福祉協議会、自治会の方に協力していただき実施しました。

7月4日(木)、2年生は初動対応資機材の扱い方について学習しました。ひなんルームや段ボールベッド、発電機等の避難所で使用されるものや、火災が起こった際に初期消火として扱う水消火器の扱い方を学びました。

7月9日(火)、3年生は応急救護訓練の視点で学習しました。三角巾の使い方と毛布担架の作り方、救助に向かうための危険性を学ぶ煙体験、共助のために高齢者の身体機能を学ぶ福祉体験を行いました。

なお、1年生は11月に非常時の防災意識を高める目的で訓練を実施予定です。

稲城第三中学校は、避難所に指定されております。実際に避難所として開設されたときに、生徒達が今回学んだ知識を生かし、地域の一員として活躍してくれることを期待しています。



北海道大空高等学校

ご参加ください

校長講演会 & 学校説明会を開催します

稲城市の姉妹都市「北海道大空町」の町立高校「北海道大空高等学校」の大辻雄介校長が、稲城市で講演会を開催します。

当日は、大空高等学校の説明会も同時開催し、学校の様子や大空高等学校への進学に関する質問にもお答えします。

どなたでもご参加いただけますので、皆さまご自由にご来場ください。

講演会：主体的な学びのススメ「越境と探究」
日時：9月30日(月)午後6時～7時
会場：地域振興プラザ 4階 会議室
参加対象：稲城市内の小・中学生とその保護者
近隣の小・中学生とその保護者
学校の先生方
※一般の方もご参加いただけます。



大辻校長

▷問合せ 教育総務課

令和6年度児童・生徒表彰の推薦を受け付けています

教育委員会では、毎年度児童・生徒表彰を実施しています。

令和6年度中に推薦基準に該当する成績等がある方は、在籍する市立小・中学校に推薦書や必要書類をご提出ください。

推薦書は各校から配付されるほか、市ホームページでも入手できます。
※市立小・中学校以外の学校に通学している方は、下記までお問い合わせください。

【表彰基準】

次のいずれかに該当すると委員会が認める個人又は団体

- (1)人命救助又はこれに類する行為を行った者
- (2)稲城市立学校の児童及び生徒の名誉を高め、他の模範となるべき行為のあった者
- (3)学術・文化・スポーツ活動において、著しい成果を収めた者
- (4)前各号に掲げるもののほか、特に表彰することが適当と委員会が認めた者



市HP

▷問合せ 教育総務課